

【学会報告】

The 7th Roundtable Meeting of Asia-Pacific Network for Holistic Education 学会報告

尹 熙喆*¹

【大会の概要】

期日：2019年10月24日（木）～26日（土）

会場：韓国、京仁（ギョンイン）教育大学

【大会のプログラム】

表 大会のプログラム

第1日目	09：10～	外国人参加者登録
	09：40～17：00	学校訪問（幼稚園・小学校・中学校）
	18：00～20：30	歓迎式
第2日目	10：00～10：30	開会式
	10：30～12：00	基調演説
	13：30～18：00	発表（セッションA・B・C）
第3日目	09：00～12：00	発表（セッションA・B・C）
	12：00～12：20	今後の計画と討論
	14：00～16：00	ホリスティック幼児教育ワークショップⅠ
	16：10～16：40	ホリスティック幼児教育ワークショップⅡ

【学会発表】

The 7th Roundtable Meeting of Asia-Pacific Network for Holistic Education が、2019年10月24日から26日まで、韓国の京仁（ギョンイン）教育大学にて開催された。「全体論的」「包括的」な教育に関する学会で、体育界においては馴染みのない学会であるが、今回のテーマは「Holistic Education for Peace」であり、「What is peace of the Sports world: the challenge of Kant's philosophy for moral behavior education in the sports world」（共同研究：尹熙喆・菅嶋康浩・加藤尊）とのタイトルにて口頭発表を行って来たので、その報告をする。

学会の参加者は、韓国や日本やアメリカやカナダを始め10カ国から、約100名程度であった。研究交流・情報交換にも60名以上の参加があり、カナダからの招待研究者への記念品贈呈、スピーチ、実行委員会あいさつがあった。

学会のプログラムとしては、John (Jack) Miller の「The Tao of Teaching and Learning」というタイトル



図1 発表会場

受付日 2020.1.10

*1 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科

の特別講演からスタートした。一般研究発表は、セッション別に3カ所で行われ、各発表者は30分の口頭発表で、18時まで行われた。私の発表はセッションCにて17時から「What is peace of the sports world: the challenge of Kant's philosophy for moral behavior education in the sports world」というタイトルでスポーツバリューを実現するための一つの方法としてカント道徳哲学からその可能性をアピールした。

一般発表は、2日間、セッションAにて10演題、セッションBにて8演題、セッションCにて10演題があり、研究テーマとしては、教師教育のWholeness、学校教育からlife教育、生徒の藝術表現、生徒の内面世界理解、教育者と被教育者の核心的価値、教育現場におけるコアー反省、自己変化のための会話式関係づくりなど多岐に及んだ。さらに、同様な研究対象について、異なる研究方法で考察を行った研究発表が行われ、本学会の研究の多様性を体験することができた。



図2 閉会

体育界には知られてない学会であるが、体育・スポーツ教育においても、新たな教育方法の視点から応用可能性を窺えたところから、今回の参加が有意味であった。来年度は、アメリカのSouthern Oregon Universityにて2020年10月8日～11日開催で、「Sustaining Wholeness and Hope in Education」というテーマで行う予定である。